

健全化判断比率

指 標	結 果	早期健全化基準※	各指標の内容
実質赤字比率	数値なし	13.10%	一般会計を中心とした赤字の割合を表す指標です。
連結実質赤字比率	数値なし	18.10%	一般会計のほか、特別・企業会計も含めた全会計の赤字の割合を表す指標です。
実質公債費比率	9.4%	25%	市の平均的な年間収入に対する借金返済額の割合を表す指標です。
将来負担比率	68.2%	350%	市の平均的な年間収入に対する将来に負担が見込まれる負債(借金)の割合を表す指標です。

※この基準を超えると国の定めに従い、健全化に向けた取り組みが必要となります。

指 標	結 果	経営健全化基準※	指標の内容
資金不足 比率	下水道事業 数値なし	20%	公営企業(滝川市は下水道事業・病院事業会計が該当します)の資金不足額が、事業規模に対してどの程度の割合なのかを表す指標です。
	病院事業 0.6%	20%	

※資金不足比率が経営健全化基準を上回った場合には、経営健全化計画を策定し、経営の健全化に努めなければなりません。

令和3年度予算の執行状況——令和3年9月末現在

▼各会計の現在高 (万円)

		予算額	収入済額	執行率(対予算)	支出済額	執行率(対予算)
特別会計	一般会計	2,270,445	1,102,421	48.6%	993,579	43.8%
	国民健康保険	452,634	198,990	44.0%	181,624	40.1%
	公営住宅	42,856	25,308	59.1%	18,220	42.5%
	介護保険	424,628	225,949	53.2%	154,663	36.4%
	後期高齢者	66,406	33,430	50.3%	22,252	33.5%
	土地区画整理	2,760	0	0.0%	1,073	38.9%

▼企業会計の現在高 (万円)

		収 入			支 出		
		予算額	執行済額	執行率(対予算)	予算額	執行済額	執行率(対予算)
下水道事業	収益的収支	134,241	58,439	43.5%	128,687	14,102	11.0%
	資本的収支	99,417	16,962	17.1%	143,129	31,404	21.9%
病院事業	収益的収支	669,450	318,039	47.5%	711,485	279,524	39.3%
	資本的収支	19,352	0	0.0%	75,984	30,493	40.1%

▼一時借入金の現在高

令和3年9月末現在の一時借入金の残高は0円です。
※市が一時的に資金不足となった場合、金融機関から借りるお金を「一時借入金」と言います。



問合せ 財政課 Tel.28-8008

市の財産(令和2年度末)

土地 1,411万㎡	建物 33万㎡	基金 現金など 40億5,578万円	有価証券 3,495万円	出資金 37億3,899万円
-------------------	----------------	------------------------------	---------------------	-----------------------

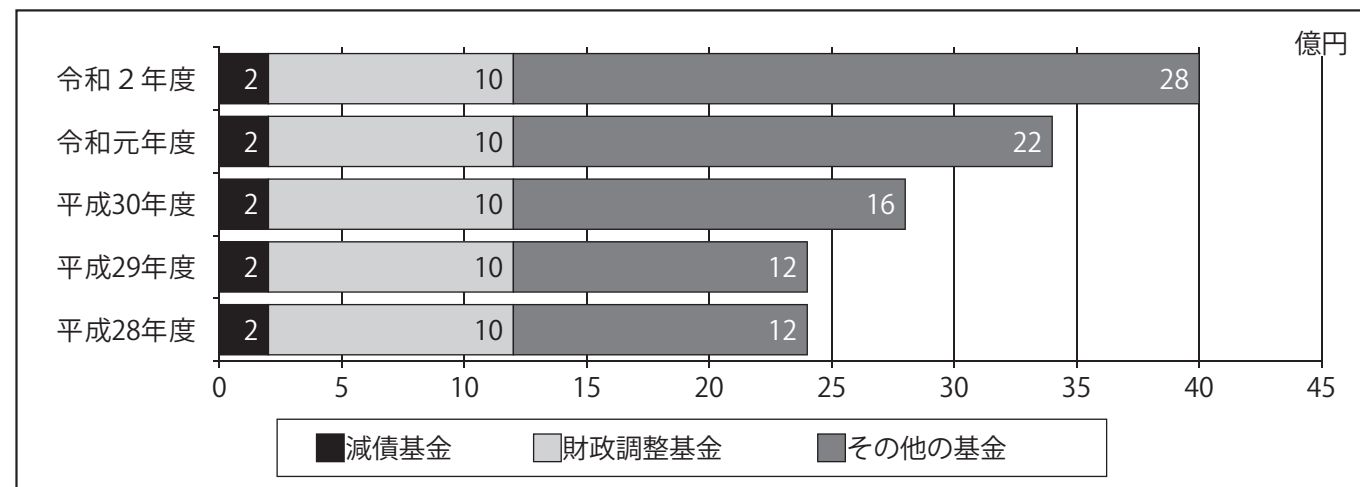
市債の現在高と基金残高推移(令和2年度末)

▼市債(市の借金)の現在高

会 計	金 額
一般会計	150億7,168万円
公営住宅事業特別会計	26億3,179万円
土地区画整理事業特別会計	1億1,060万円
下水道事業会計	61億1,162万円
病院事業会計	79億1,946万円
合 計	318億4,515万円



▼基金(市の貯金)残高推移



※減債基金とは、将来の借金の返済に備え、積み立てる基金です。

※財政調整基金とは、年度によって生じる財源の不均衡を調整するための基金です。

市民1人当たりの金額

令和2年度決算をもとに税金(国民健康保険税除く)、借金(一般会計分)、貯金を1人当たりに置き換えてみました。

- 市民1人が納めた税金…………… 111,920円
- 市民1人の貯金(基金)…………… 104,184円
- 市民1人の借金(市債)…………… 387,158円

※ただし、市債の66.6%は国から地方交付税として戻してもらえ制度がありますので、実質的な市民1人の借金(市債)は129,341円となります。